

きわめて高くなる

第三段階は、天に上げられたキリストが神の座につくことです。キリストは、神が人となられたお方ですから、天に戻ったときに、神に戻るのは当たり前かと言うと、そうではありません。

イエスは、復活の体とはいえ、人の体を持ったまま天に上げられました。

元の「神」としての在り方に戻ったのではなく、今や「神であり人であるお方」として天におられます。

その理由は何でしょうか、詳しくは集会で。

**2026年4月の集会のテーマは「イエスの昇天」
4月5日（日）みやま、18日（土）福岡**

お問い合わせは 熊本聖書フォーラムのホームページから
<https://seishoforum.net/kumamoto/top/>

2026年2月 第2号

聖書のことばを あなたに

預言者イザヤのことば、紀元前700年頃

見よ、わたしのしもべは栄える。
彼は高められて上げられ、
きわめて高くなる。

（旧約聖書 イザヤ書 52章13節）

旧約聖書はキリストについて預言し、新約聖書はイエスがキリストであると証言する書です。キリストとは、神が人となられて地上に現れ、私たちに永遠の生命を与えてくださる救い主です。



見よ、わたしのしもべは栄える

「わたしのしもべ」とは、キリストを指します。「栄える」は、原語では「賢くふるまう」とも訳せます。キリストが、しもべのように自分を低くして、神のみこころに従ってふるまう、と預言されていたのです。

その預言のとおり、イエスは仕える者のようにして病人を癒やし、苦しんでいる人を助けました。ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、脅すことをせず、正しく裁かれる方である神にお任せになりました。

その結果、どうなるのか？

「高められて・上げられ・きわめて高くなる」キリストは、3つの段階で高められます。その預言のとおり、イエスに起きました。

彼は高められて

第一段階は、よみからの復活です。イエスは自ら十字架の上で私たちの罪をその身に負って死んでくださいました。その体は墓に葬られ、その靈魂はよみに下りました。しかし、イエスは三日目に復活しました。イエスの靈魂は、よみから上り、復活の体をもって地上に立ちました。

上げられ

第二段階は、地上から天に引き上げられたことです。復活から40日間、イエスは弟子たちに現れて、ご自身が復活したことを示した後、エルサレムの東の山、オリーブ山から天に上げられました。これを、「イエスの昇天」と呼びます。